

風神秘抄

荻原規子作 徳間書店

幼いころから笛を吹くことをなぐさめとした、孤独な少年草十郎。戦に敗れ、生きる意味を見失った草十郎は、六条河原で、源氏方の死者の魂鎮めの舞を舞う少女糸世に出会う。糸世の舞に引き寄せられるように、笛をあわせる草十郎。二人の舞と笛があうと、生者の運命をも変える強大な力が生じると、真に理解したのは、糸世のみだった。互いに惹かれあい、生きる道を模索する二人の前に立ちはだかるのは…。平安末期を舞台に繰り広げられる、壮大な歴史ファンタジー。

